

第3回 生産性向上委員会

日産自動車における技能者の改善実践スキルの育成事例紹介と教育施設見学



3月21日(水)、日産自動車(株)日産教育センターに伺い、生産性向上委員会と見学会を実施した。

日産教育センターには 日産ラーニングセンターモノづくり大学(日産自動車及びグループ会社の人財教育) 日産ビジネスカレッジ(日産の販売会社の人財教育) 日産横浜自動車大学校(日産直営の自動車整備及び販売の専門学校)がある。

モノづくり大学には テクニカルカレッジ(2年制の企業内短大と8ヶ月間の集中教育の製造経営コース) 現場管理スクール(品質管理・改善や生産性向上等の現場スキルを養成) エンジニアリングスクール(デジタルデバイス等の短期専門コース)がある。実務の実践力を上げる教育を行う

ため、経営及び現場サイドの両ニーズに支持されるよう常にコースのマッチングを図っている。

同大学は実践力重視の教育を方針とし、実務での実践を前提としたカリキュラム・テキスト・教材を提供。具体的には「分かる」(理論・知識・手法が理解できる)「できる」(学んだ事を自分で実践できる)「動ける」(職場・チームで結果を出せる)の3ステップで教育を実施している。

各コースの紹介とテクニカルカレッジ短大生による改善事例発表の後、センター内を見学。質疑応答後、委員による来年度委員会のテーマほかに関する審議をいただき終了した。(文責事務局)



授業風景を見学する参加者